

藻岩

題字 鈴木 紫石

発行所
藻岩地区町内会連合会
もいわ地区センター内
電話・FAX 572-9460
発行人 村上 剛
編集 総務部

印刷 山王グラフィック



ご挨拶

藻岩地区町内会連合会

会長 村上 剛



今まさに山滴るこの時節、会員の皆様には多忙極まりない毎日だと推察致します。

また、前年度三月までの連合町内会・社協行事には多大なご協力を頂きましたことに感謝し、厚く御礼申し上げます。

お陰様で滞りなく連合会の各事業を終了いたしましたことを報告させていただきます。

今年度も皆様のご協力を頂いて、コロナ後の「新しい時代」を意識し

つつ、色々な行事は様相を一変しても復活させ、皆さんにご協力をお願いし、楽しんで頂けるよう取り組んで行きたいと思っております。

さて、突然ですが、私の住まいは藻岩南小学校の校区内にあり、町内会長ということからか、折に触れ学校から「藻岩南だより」が届きます。私はこれをいつも楽しみにしており、先般届けられた今年度第2号に、教頭先生が執筆した「PLUSに一年」というタイトルの記事が掲載されていました。

拝読すると、

① 学校と家庭・地域が一体となつて子どものよさや可能性を認め、支えるかかわりを通して子どもの習慣づくりを進める「さつぽろっ子『学び』のススメ」という指針を、札幌市が策定していること。

② この中で取り組むべき五つのポイントの浸透を図るため、そ

の頭文字をとって「まほうのかわ」としてのこと。

③ これとは別に、市立のすべての小中学校の子どもたちの手により「さつぽろっ子宣言」が出されたこと。

④ その中で「プラスのまほう」という合言葉が創られ、それには「プラス(PLUS)」の思いを大切にして、札幌の街に明るい魔法をかけたい、さつぽろっ子一人一人が自分もみんなも大切にして、笑顔があふれる学校にしたいという願いが込められていること。

これは学校だけではなく地域活動をしている私達大人が率先してやらなければならない、忘れかけていた言葉、理念でもあります。

わが連合町内会に目を向けると、今年度の連合町内会の基本方針の一つとして、三配りを意識した「子どもや子育て中の親などを含め「子ども・子育てにやさしい藻岩地区」にするべく、連町の関係各部と連携の下、どのように展開できるかを考え、その中でもふれあい交流活動の中の、子育て支援の更なる普及啓発を

進めて行きたいと考えております。

折に触れて大人の社会にも、「プラス(PLUS)」の思考を取り入れ、「今までのように：」とか「前は・・・」とかではなく、新たな挑戦ができればと願っています。

因みに「まほうのかわ」とは

・ま 学んだことを一緒に振り返りましょう

・ほう 方法を一緒に考えましょう

・の 伸びを認め褒めましょう

・かい 改善に向けて生活を一緒に振り返りましょう

・わ わからない事、出来ない事に挑戦できるように励ましましょう

「PLUS」の思いとは

・Positive (ポジティブ)

前向きな考えで

・Love (ラブ)

互いを大切に

・Unique (ユニーク)

個性を認め合い

・Smile (スマイル)

笑顔あふれるさつぽろに

ごあいさつ

札幌市南区

区長 大谷 聡 美



藻岩地区の皆さん、こんにちは。
4月1日付で南区長に着任いたしました大谷でございます。

区役所という市政の最前線で、南区のまちづくりの事に携わることになり、喜びとともに、責任の重さを感じております。

また、村上市長をはじめとする町連役員の皆さまや地域の皆さまには、日頃から南区のまちづくりの推進に特段のご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、ここ藻岩地区は、藻岩山や硬石山などの山間部から豊平川へと続く緑豊かな自然に恵まれた地域にあり、私も着任早々実際に、地域の様子をこの目で見てまいりましたが、恵まれた自然はまさに財産であると感じました。

ごあいさつ

藻岩まちづくりセンター

所長 岡本 光 洋



このような環境のもと、藻岩地区では「気配り・目配り・心配り」の「三配り」運動や、町内会連合会ホームページ「もしわ暮らし」でのユニークな方法による情報発信など、住みよいまちづくりに向けて積極的に取り組まれているとうかがっています。
南区役所といたしましても、地域が主体のまちづくりを精一杯支援してまいりますので、藻岩地区の皆さまにおかれましても、より一層のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新年度も二カ月が経過し、各種団体の総会もひと段落。地域が動き始めました。

藻岩地区の皆さまには、日ごろから温かいご支援とご協力をいただき、心からお礼を申し上げます。

さて、皆さまは、令和四年度と五年度、連合会がまちづくりセンターと協働で進めていた「もしわ塾」の取り組みをご存じですよね。「次世代の地域の担い手づくり」を目指し、公募で集まった塾生が藻岩地区の人やお店、行事などを取材し、ホームページに公開することで、地域への理解や愛着を持ってもらおうと始めたものです。

今年度はこれをレベルアップし、三期目の塾生のほか、卒業生「もしわ伝え隊」や講師を務めるプロのラ



イターなどの協力を得て、地区の魅力をさらに発信していく予定です。
皆さん、「地域のために地道に汗を流している人がいるよ」とか、「近所に美味しい店ができたよ」、「うちの町内会ではこんなすごいことしているよ」などの情報があれば、ぜひお寄せください。

このほか、まちづくりセンターでは、地域活動のご相談や情報提供などを通じて、住みよい藻岩地区となるよう、職員一同、皆様と共に努力してまいりますので、よろしくお願ひいたします。

令和六年度 藻岩地区町内会連合会 定期総会開催

5月12日(日)午後1時30分より、もいわ地区センター1階多目的ホールにて、令和6年度定期総会が開催されました。村上剛会長、高瀬幸夫相談役、三神英彦顧問の挨拶に続き、議長選出が行われ事務局一任で、川沿第三町内会会長小村裕氏を選任しました。定数報告で、鈴木総務部長より、構成員56名中47名(委任状3)の出席の報告があり会則に従い総会は成立しました。

小村議長は直ちに議案の審議に入りました。第1号議案令和5年度事業運営報告を鈴木総務部長が、第2号議案令和5年度一般会計及び特別会計収支決算報告を笹原会計部長よりそれぞれ報告されました。第3号議案令和5年度各会計に関する会計監査報告を王子団地町内会会長齋藤速也会計監査、川沿中央第四町内会会長伊藤昭彦会計監査より監査報告が行われました。採決の結果第1号議案(第3号議案は承認可決されました。第4号議案令和6年度事業計画(案)第5号議案令和6年度一般会計及び特別会計収支予算(案)について、鈴木総務部長、笹原会計部長より提出理由が説明されました。採決の結果第4号議案、第5号議案は承認可決されました。第6号議案副会長・会計部長の退任による選任に

ついて村上会長より報告がありました。採決の結果第6号議案は承認可決されました。その他報告事項後小村議長より総会の議事を全て終了した旨を宣言し、大きな拍手で議長席を降壇されました。

令和六年度 事業計画

昨年は新型コロナウイルス感染も2類から5類に移行し新たな「withコロナ」の社会へと歩みを進めました。

また、札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例が令和5年4月1日に施行され、それに併せ、市では住民組織助成金の増額を含む地域活動の支援施策を強化し、市民自治の推進に一層力を入れる方向性を打ち出しました。

今年はこちらを受け、新たな時代に即した町内会活動とは何かを皆で考えながら、地域活動の活性化を模索したいと思えます。

その思いの下、下記の事業計画方針として昨年度から継続性を保ちながら次の三つを掲げ、地域の発展と福祉の向上を目指し「皆が住んで良かった」、住んでみたいと思えるまちづくり」に力をいれていきます。

基本方針
1 連町の理念である「三配り運動」の取り組みの共有

三配り運動の実施におきまして、28単町の活動の共有化を図るために、区社会福祉協議会・南区介護予防センターもいわ・第二地域包括支援センターとも協力しながら、当地区社会福祉協議会とともに「気配り」「目配り」「心配り」の三配りの運動のさらなる普及啓発を進めます。

なお、「三配り運動」は高齢者だけを対象としたものではありません。今年度は子どもや子育て中の親などを含め「子ども、子育てにやさしい藻岩地区」にするべく、連町の関係各部の連携の下、どのように展開ができるか考えてまいります。

2 連町事業部と単町事業部の連携強化

昨年度から、町内会を取り巻く環境の変化に対応すべく、連町の各事業部が中心となり単町の関連事業部との会議を開催するなどして、情報の共有と課題の解決を目指してきました。

その結果、これまでも定期的に単町との会議を開いていた女性部に加え、新たに総務部(広報部を含む)及び防災部(防犯部を含む)でそれぞれ会議を持つことができその中で、多岐に渡って単町の課題が共有されました。

今年はこの取り組みを継続するとともに、LINEWORKSによる連町・単町各部長の横の連帯を強化し、災害時の迅速な情報共有のほか、会議だけでなく普段から気軽に課題共有ができる仕組みづくりを進めてまいります。

また、連町組織として副会長の担当部門の強化を計ります。

丸藤副会長：青少年部・交通安全全部
山田副会長：環境衛生部・防災部
岩村副会長：福祉部・体育部・女性部
なお、総務部・会計部ほか、他の部は三役会管轄とする。

3 ホームページ「もいわ暮らし」の活用と会員の参加
本年度でホームページ「もいわ暮らし」の活用が三年目に入りました。昨年度は「各町内会、自治会からの情報を積極的に発信し、会員参加型の活用を進める」との基本方針の下、いくつかの単町の会報を「もいわ暮らし」に新たに掲載するなど進めてまいりましたが、今年度もこれを進めてまいります。

またホームページの運用強化に向け、区の助成金を活用し「もいわ塾三期生」を募集し、引き続き広報活動の強化を図ります。
※社会環境により行事等に変更が有りうる事をお含みおき下さい。

総務部

1. 令和6年度藻岩地区町内会連合会の基本3方針の浸透に向け、各事業部及び関連機関と調整を図り、令和6年度の事業計画を推進する。
2. 単位町内会との総務部長会議を開催し、情報の共有と課題の解決を目指します。

3. 定期総会・理事会・三役会等の開催及びホームページへの会議掲載を通し、会員への情報発信を図る。

会計部

1. 会計の予算立案と予算執行に当

たつては、過年度の実績を勘案するとともに各事業の実態に即した効果的対応に努める。

2. 会計の事務処理については、関係帳簿・証拠書類等を正確に記録整理保管し適正な決算書の作成に努める。

広報部

1. 藻岩地区町内会連合会のホームページ(もいわ暮らし)の運用を統括し、もいわ塾の運営会議を主催し、広報活動の強化を図ります。
2. 各町内会・自治会からの情報を積極的に発信し、会員の参加型の活用を推進する。
3. 会報「藻岩」の発行及びホームページへの掲載を行い、情報発信に努めます。

福祉部

1. 藻岩地区社会福祉協議会、藻岩地区福祉のまち推進センター、藻岩地区民生・児童委員協議会、札幌市など福祉関連機関と連携し福祉活動を推進する。
2. 「気配り」「目配り」「心配り」の「三配り運動」の推進。

環境衛生部

1. 南区クリーンさつぽろ衛生推進協議会と連携を図り、ゴミ対策など町内会の清掃、環境衛生の普及活動を推進する。

体育部

1. 令和6年度における藻岩地区町内会連合会の事業計画に基づき、各種の体育活動を通じ、町内会連合会の会員相互の交流と親睦を図り、健康の増進に寄与することを

目的に推進する。

女性部

1. 藻岩地区町内会連合会の各事業の推進に参画し、地域の活性化に努める、又、外部団体との連絡・調整を行う。
2. 町内会・自治会の女性部長の参加により、年2回の部長会又部長研修を行い互いの意見交換を通じて地域の発展に寄与する。
3. 「藻岩地区交通安全母の会」に参加し、家庭・地域の交通安全を推進する。

青少年部

1. 子ども会活動にあたり(公社)札幌市子ども会育成連合会と連携を図り推進する。
2. 単位町内会の青少年部長会議を招集し、情報の共有化を促進する。

防災部

1. 単位町内会の自主防災組織の点検を実施し、防災活動の充実を図る。
2. 単位町内会の防災担当部長会議を招集し情報の共有化を促進する。
3. 市・消防署・警察署・関係団体主催の各種行事への参加協力。

交通安全部

1. 各団体・町内会役員等による春夏秋冬の交通安全街頭啓発活動の推進。
2. 各学校に対する交通安全教室の実施。
3. 単位町内会の交通安全全部長会議を招集し情報の共有化を促進する。

新任理事等の紹介

令和6年度は、次の方々が連合会の新理事および役員に就任されました。

理事	川田 誠
理事	平原 有利子
理事	伊勢 啓介
理事	蛭原 和子
副会長	岩村 重勝
広報部長	鈴木 光典
防災部長	豊田 妙子

感謝状贈呈

藻岩地区町内会連合会より

町内会連合会の活動に永年貢献された元役員に感謝状を授与いたしました。

永年にわたり地域の一人として連合会の役員を歴任され、地域の発展に貢献されました笹原正裕さま(連合会元会計部長、川沿第三町内会)、松本宏章さま(連合会元防災部長、硬石山町内会)の2名に、令和6年5月12日(日)令和6年度総会にて、連合会村上会長から、会則19条に基づき感謝状と記念品が贈呈されました。

た。これまでのご活躍に敬意を表し、皆様にご紹介いたします。



元会計部長 笹原 正裕 さん



元防災部長 松本 宏章 さん



令和六年度
交通安全街頭啓発の実施

・令和6年 春の交通安全街頭啓発を行いました

今年も、春の交通安全運動の一環として、藻岩地区町内会連合会では、ストップ・ザ・交通事故「めざせ安全で安心な北海道」のスローガンのもと、令和6年4月10日（水）南区川沿8条2丁目の国道交差点周辺で、総勢84名が参加し、春の交通安全街頭啓発を実施しました。

特に新入学児童、高齢者の皆様の安全のために、皆さま交通ルールを遵守し正しい交通マナーの実践をお願いいたします。

第19回
**藻岩地区アイスクャンドル
フォトコンテスト**

令和6年1月27日と28日の2日間、藻岩地区一円で、「第19回藻岩地区アイスクャンドル」が10単町を含め13カ所で開催されました。今年度は、暖冬でアイスクャンドル製作には、皆様大変ご苦労をされました。大変お疲れ様でした。

また、今年もアイスクャンドル・フォトコンテストが開催され、多数の応募をいただきました。2月27日地区センターにて、入賞作品の表彰式が行われました。入賞されました皆様、おめでとうございます。

応募作品は、2月27日から3月3日まで、地区センターロビーにて展示されました。多くの皆様のご観覧をいただき有り難うございました。



藻岩地区町内会連合会長賞
クロットウオージー倫子さん
(アイビーハイム藻岩町内会)



まちづくり協議会長賞
「凍光の輝き」
鈴木 大介さん
(アイビーハイム藻岩町内会)



藻岩アイスクャンドル賞
「花火大会に夢中の子供達」
福本 久男さん
(川沿第2町内会)



特選
「アイビーハイムの灯」
谷村 米子さん
(アイビーハイム藻岩町内会)



ファミリー賞
「連合町内会長激励アイサツ」
山田 信春さん
(アイビーハイム藻岩町内会)





テクニカル賞
岡谷 良さん
(白樺町内会)



アイデア賞
「花と火」
野呂 京さん [8歳]
川沿中央第5町内会



展示特別賞
「初めて参加です」
後藤 美友さん
(川沿中央第5町内会)



展示特別賞
森谷 貴さん
(川沿第3町内会)



展示特別賞
「早くすべりたいよ〜」
服部 真貴子さん
(白樺町内会)



展示特別賞
「懇親会風景」
黄木 洋子さん
(アイビーハイム藻岩町内会)



展示特別賞
「点灯式風景」
三原 信幸さん
(アイビーハイム藻岩町内会)



展示特別賞
「青のイルミネーションの下の辰」
秋本 健一さん
(アイビーハイム藻岩町内会)



展示特別賞
「雪だるまとアイスクャンドル」
井上 勇さん
(川沿第四町内会)



展示特別賞
「青い花、雪のそと」
野呂 昊さん [6歳]
(川沿中央第5町内会)



展示特別賞
「無題」
笹森 敏久さん
(パレス藻南公園管理組合自治会)

令和6年度 藻岩地区町内会連合会 役員名簿

藻岩地区町内会連合会事務局 札幌市南区川沿8条2丁目4-15 もいわ地区センター内
電話/FAX (011) 572-9460

役員

役職名	氏名
顧問	三神英彦
相談役	佐藤一彦
相談役	高瀬幸夫
会長	村上剛
副会長	丸藤勝 (青少年・交通安全)
副会長	山田信春 (環境衛生・防災)
副会長	岩村重勝 (福祉・体育・女性)
会計監査	齋藤速也
会計監査	伊藤昭彦
理事	町内会長および自治会長(右表)
総務部長	鈴木光典
会計部長	人選中
広報部長	鈴木光典
福祉部長	岩村重勝
環境衛生部長	大原康之
体育部長	難波正利
女性部長	谷口充子
女性副部長	千坂浩子
女性副部長	木沢正枝
青少年部長	林美方子
防災部長	豊田妙子
交通安全部長	安岡行雄
事務局員	後藤俊美

理事

NO	町内会名	会長名
1	川沿第一	松野孝
2	川沿第二	青木和弘 (会長代行)
3	川沿第三	小村裕
4	川沿第四	平井美昭
5	川沿中央第一	金山征晴
6	川沿中央第二	藤森孝夫
7	川沿中央第三	今西重之
8	川沿中央第四	伊藤昭彦
9	川沿中央第五	村上剛
10	市営川沿団地自治会	川田誠
11	川沿自衛隊官舎	平原有利子
12	パレス藻南公園管理組合自治会	笹谷信夫
13	硬石山	大原康之
14	ローズタウン川沿	山室知晴
15	ビレッジハウス川沿	
16	川沿北	五味川博都志
17	ルーベダンス藻岩	中村裕一
18	北ノ沢第一	渡邊克己
19	王子団地	齋藤速也
20	北ノ沢第三	鎌田光子
21	北ノ沢青葉台	丸藤勝
22	やまなみ	一戸健 ^{マサル}
23	中ノ沢	市村良一
24	アイビーハイム藻岩	山田信春
25	中ノ沢希望ヶ丘	伊勢敬介
26	アームズ虹が杜	岩村重勝
27	藻岩グリーンアヴェニュー壱番街	蛭原和子
28	白樺	服部眞貴子



もいわ暮らし
藻岩地区町内会連合会

ホームページのご案内

- * ホームページの名称は 「もいわ暮らし」
- * ホームページアドレス(URL) <https://www.moiwa-area.com>
- * メールアドレス moiwa.area@gmail.com



QRコード

ホームページについてのお問い合わせ先

藻岩地区町内会連合会

〒005-0808 札幌市南区川沿8条2丁目4-15 もいわ地区センター内
電話/FAX(011)572-9460 (総務部)

町内会・自治会だより

川沿第四町内会

4年ぶりのアイスキャンドル展 に参加して

川沿第4町内会は、令和2年1月
以来の参加について消極的な意見が
出ていたが、会長の一言「止めるの
はいつでもできる。一度止めたら再
会はもっと難しくなる。今回は、ゼ
ロからのスタートでやってみよう」
と実行委員会を立ち上げました。

自分に出来ることを出来る範囲で
の協力・参加を基本とし、①アイス
キャンドルの製作、②キャンドル台
の製作、③キャンドルの設置、④キャ
ンドルの点灯式、⑤キャンドルの撤
去作業等に区分し、4年前のアイス
キャンドルの写真を散りばめた回覧
板を2回発行し呼びかけ、22名の役
員・班長・有志一同の協力により、
実施することができた。

雪が多くキャンドル台の製作には
苦労しましたが、除雪機の力もあり
天候にも恵まれキャンドル150基
を展示することができた。



点灯式の会場には、自分で製作し
たキャンドルの前の記念写真、花柄
のアイスキャンドルはどうやって作
るの、思い思いに楽しんでいました。

お子様を始め参加者にチョコキャン
ディをお土産、ココア・甘酒・お汁
粉が振る舞われ、東屋の休憩所で談
笑し満喫していました。参加人員2
日間で150名を数え、やってよ
かったなど安堵したところでした。ご
協力・参加していただきました皆さ
ま本当にありがとうございました。ご
文写真 (交通安全部長 井上 勇)

アイビーハイム藻岩町内会 花壇開きと清掃活動

今年もさわやかな初夏の風が頼に
心地よく感じられる季節となり、私
たちの町内会では環境衛生部と管理
組合の美観委員会のメンバーが主体
となって恒例のプレイロットの「花
壇開き」と「清掃活動」を実施しま
した。

数多くの老若男女の参加を得て、
花壇やプランターの寄せ植えなど約
400株の花苗の植栽と
マンション周辺の植え込
みや歩道を中心に清掃作
業を実施しました。



▲プレイロット花壇の花苗
の植栽

植樹柵の花苗の植栽▶



コロナ禍で数多くの行事が制約を
受けて中止しましたが、この行事は
皆さんの協力により継続してきたも
のです。

また南区土木部の「歩道美化事業」
に協賛し歩道の3ヶ所の植樹柵に市
より助成された花苗の植栽と成育の
維持管理を毎年、本行事と同時に実
施して緑あふれる街づくりの一環に
努めています。

植栽や清掃作業を終えた参加者の
皆さんには作業成果の達成感が溢れ
ている姿が印象的でした。

編集後記

今年の、連町行事は「第55回もい
わ夏まつり(8/4)・第20回パー
クゴルフ大会(9/15)・第13回輪
投げ大会(11/10)・第20回アイス
キャンドル(1/25・26)」を計画
しております。多数の皆様のご参加
をお待ちしております。(編集部)